

【大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、河南記者クラブ、東大阪市政記者クラブ、和歌山県政担当記者クラブ、京都経済記者クラブ 同時提供】

令和6年3月14日	
資料提供	
担当	和歌山県立医科大学 <報道に関すること> 事務局広報室 上野山、岩本（内線 5731） <内容に関すること> 内科学第3講座 藤本講師（内線 5162）
電話	073-447-2300（代表）

ステージ4肺がんの症例データから予後を予測する

AIモデルを構築

患者の医療・ケアの方針を決定する際の重要な指標に

和歌山県立医科大学(和歌山県和歌山市)附属病院呼吸器内科・腫瘍内科講師 藤本大智と、近畿大学医学部(大阪府大阪狭山市)内科学教室(腫瘍内科部門)主任教授 林秀敏らを中心とする研究グループは、ステージ4の肺がん患者の症例データを収集し、日本人における肺がんの予後を高い精度で予測するAIモデルを構築しました。

本研究は、特定非営利活動法人西日本がん研究機構(WJOG、大阪府大阪市)のとりまとめにより、新医療リアルワールドデータ研究機構株式会社(京都府京都市)および株式会社 NTT データ(東京都江東区)の支援を受けて実施しました。